

東大野球部 メールマガジン Vol.228

ごあいさつ

霜が降りるほど秋が深まる季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

弊部は先週末静岡で行われたオータムフレッシュリーグに参加しました。下級生が中心となって臨んだ試合でしたが、2試合とも大差で敗戦し投打ともに課題が浮き彫りとなりました。

年内最後の試合となる今週末の対一橋大学戦では勝利を挙げられるよう全力で戦いたと思います。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願いいたします。

今後の日程

〈令和元年度 秋季オープン戦〉

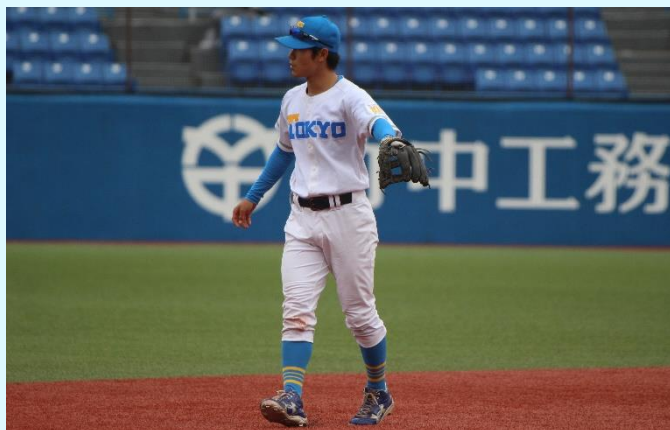
12月1日 13:00 vs 一橋大学(B) @一橋大G

今回の特集 「来シーズンに向けて」

今回の特集は、「来シーズンに向けて」です。秋季リーグ戦を終えた選手たちに来シーズンにかける思いを語ってもらいました。

早川 怜志 (3年・内野手・菊里)

秋季リーグ戦での一番の心残りは、一つ上の先輩方と共に勝てなかったことです。ノックをずっと打ってくださったり、自分のことで手一杯なはずなのに内野だけでなくチームのことを柄にもなくまとめようとしていたり、研究室で忙しいはずなのに分析を遅くまで行なっていたり、形は違えど勝ちたいという強い思いを感じました。一緒に勝利することはできませんでしたが、彼らの思いを受け継いで、来シーズン勝ちます。



梅山 遼太 (3年・外野手・四日市)

秋季リーグ最後の法大2回戦は、自分がこれまで経験した中で最も悔しい試合でした。あれだけやって勝てないのか…と他大学の壁の高さを思い知らされたようでした。しかしそう思えるほどあの日のチームは最高でした。あの雰囲気もかつて経験したことがありません。この代で勝ちたい、小林大雅さん(4年)を勝たせたい、全員が本当の意味で一丸となっていました。あの日あの試合の熱を忘れません。そうして春、今度は自分達の代で、必ず勝利を掴みます。



井上 慶秀 (2年・内野手・県長野)

秋季リーグ戦、応援ありがとうございました。一勝も出来ず、不甲斐ない結果に終わりました。来シーズンでは、まず一勝、そして勝ち点奪取に向けて頑張ります。

僕は東大野球部に入部してからリーグ戦での勝利

を経験したことはありませんが、最終戦の法大2回戦での、球場全体の盛り上がりには驚かされました。リーグ戦で勝った時の喜びや、スタンドの盛り上がりを実感しながら、冬の練習に臨みたいと思います。



安田 拓光 (2年・外野手・三鷹中等教育)

この秋は春に比べて試合内容が良くなったものの、勝ち切ることができませんでした。個人的には春より出場機会が減り悔しいシーズンとなりました。次の春のシーズンでは入学して以来続いている連敗を止め勝ち点を取るために、まずはこの冬成長できるように頑張ります。



松岡 泰希 (1年・捕手・東京都市大付)

秋シーズン、スタメンマスクをかぶらせていただくなどゲームの勝敗に関わる経験を得ることができました。春よりもさらに勝つことの難しさを思い知りました。しかし同時に、勝ちへの光、ビジョンも見えたような気がします。その光明に向けてのレベルアップがこの冬の課題です。そして、一冬越して

大きく成長した姿をお見せし、春季リーグ戦ではなんとでも勝ちを掴みます。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「筋肉は裏切らない」と題して、筋トレに取り組んでいる選手たちに筋トレへのこだわりを語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡ください。